

Googleマップ避難施設誘導機能【共同施策】

☰ 概要

【現在地から避難施設を自動表示・混雑度を表示する機能】

- ・ 普段、災害時の避難場所を調べない。
- ・ 旅行先、移動中など、普段の生活圏外で災害が起きた場合は、避難場所が分からない。

...

現在地から最寄りの避難場所を検知

⇒普段使用している地図アプリに表示してルート案内する機能

- ・ 地図アプリの追加機能として実装することで、新規にアプリを追加や登録をする必要がない。→Googleとの共同施策
- ・ 災害時のロードマップなどが掲載されているサイトが落ちて見れない。という事がなくなる。
- ・ 避難所の許容人数・位置情報の人数から満員度を表示？どこの避難所に行くといいかを確定。

☑ 解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？

- ①災害時のロードマップなどが掲載されているサイトが落ちて見れない。→どこに避難すればよいか分からない。
- ②普段から災害への対策をしない。→災害用のアプリ等をインストールしていない。
- ③旅行先、移動中など、普段の生活圏外で災害が起きた場合は、避難場所が分からない。→避難に時間が掛かる。

☑ 解決方法：課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。

既存の地図アプリ（Google・Yahoo!等）を提供している会社と合同制作。

内閣官房国民保護ポータルサイトから最新の避難施設を取得。

- ①地図アプリの追加機能として災害アラートが鳴ったら自動で最寄りの避難施設を表示する。
- ②普段使用する地図アプリに追加機能として搭載することで、新規アプリインストールを不要にする。
- ③災害発生時、地図アプリに避難施設検索をポップアップする。（ボタンを表示する等）

☑ 類似（独創性）：現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください（検索してみてください）

ココダヨ

防災情報 全国避難所ガイド

東京都防災アプリ

goo防災アプリ

etc...

☑ 有意性：既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか（存在している場合のみ記載ください）

既存の避難行動支援アプリ

⇒新規にインストールする必要がある為、インストールをしていない人達は緊急時に使用できない。

【アイデア】地図アプリ追加機能

⇒普段使用する地図アプリに追加機能として搭載しているため、ほとんどの人がインストールしており使用できる。

既存の地図アプリ

⇒「避難所」と検索すると避難所が表示されるが、その機能を知っている人が少ない。緊急時に気づけない。

【アイデア】地図アプリ追加機能

⇒災害発生時、地図アプリに避難施設検索をポップアップ（ボタンを表示する・バナー表示する等）することで、誰でも避難所の検索をすることが可能。

⇒アラートが鳴ったら自動的に最寄りの避難施設を表示することで、スマホの操作が苦手な人でも避難が可能。

実現方法：どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）

既存の大手地図アプリ（Google・Yahoo!等）を提供している会社と合同制作。

最新の避難施設をを内閣官房国民保護ポータルサイト等から取得。

機能一覧

■災害発生時、地図アプリに避難施設検索をポップアップ（ボタンを表示する・バナー表示する等）する
・位置情報から現在地を取得し、災害発生近辺であった場合に通知（市区町村レベル）

■アラートが鳴ったら最寄りの避難施設を表示・ルート案内

- ・位置情報から現在地を取得
- ・避難施設を自動検索し表示
- ・既存の地図アプリ機能でルート案内

■避難施設の混雑度表示

- ・位置情報から避難所ごとの人数を集計し、混雑度を取得・表示する
表示方法：満員>混雑>やや混雑>空きあり（%も表示）
- ・空いている避難施設を%の数値などから検知し、優先的に案内

課題・障壁：実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか

課題：地図アプリの位置情報を「APP使用時のみ許可」にしている場合、通知が届かない？

克服：政府のアラートと連動することで、現在地を取得・案内実施。（政府のアラートは位置情報設定関係無く通知される）

課題：地震等で建物が倒れるなどしてルート通り避難施設に向かえない場合の想定。

克服：口コミ機能を搭載し、現在地周辺のリアルタイムな情報を共有する。

期間・コスト：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください

コスト：1000万

開発期間：1年

※共同制作承認後の開発期間

※他企業と連動制作している為、企業間のやり取りを含めたスケジュール設定

未来像：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください

スムーズに避難することができ、自分や家族の命を守ることにつながる。

普段災害に対して関心が無い人が災害に見舞われた際、避難施設の場所やルートをスムーズに知ることが出来る。避難施設の混雑状況を避難する側が知っておくことで、「別の避難所へ行ったほうが良いのではないか」などの不安を解消できる。